



Close up at



IAA2011

もうひとつのフランクフルト・モーターショー

フランクフルト・モーターショーは、常にワールドプレミアを飾る最新モデルで注目を集めてきた。しかもボルシェ、BMW、メルセデス、アウディといったドイツメーカーは、お膝元であるだけにバビリオンから力の入れようがまったく違う。しかし、それは自動車メーカーだけのことではない。ドイツに数多くある有名チューナーも、このフランクフルト・モーターショーで、ホットなモデルの数々を発表しているのである。そこで、先月お届けできなかったこうしたチューナーブランドの注目モデルを、厳選してここでご紹介しよう。

チューナーブランドも熱いIAA





マンソリー・マジックで究極のスーパーカーをさらに高める

MANSORY SIRACUSA

チューニングカーが立ち並ぶ、フランクフルト・ショーの第5ホール。その一角に目を惹いたマンソリー・マジックのブースは圧巻だった。合計9台ものコンプリートカーが並んでいたからだ。ここではその中でも特に輝きを放っていた、シクサーズにスポットを当てる。

●企画編集: Tezdy Magazine / Amazon 写真: 6名 ●写真協力: Photo by David Hill
 ●編集: 藤村 隆太 ●発行: 藤村 隆太 ●発行所: Tezdy Magazine / Amazon Phone: 043-553-2222



「Mansory Siracusa」は、Ferrariのスーパーカー「F12 Berlinetta」をベースにした、究極のスーパーカー。その外観は、カーボンファイバー製のボディと、最新のエアロダイナミクスを追求したデザインが特徴。また、エンジンはFerrariのV12エンジンで、出力は700馬力以上。0-100km/hはわずか3.5秒と、驚異的な加速性能を誇る。また、最高速度は350km/h以上と、通常のスーパーカーよりもさらに高い性能を誇る。Mansory Siracusaは、究極のスーパーカーを求める人々にとって、まさに夢のクルマである。

MANSORY Gallery at IAA

会場を彩るマンソリーたち



Based on SLS AMG



Based on Continental GT



Based on R8



Based on Cayenne



Based on Panamera



マンソリーとマンソリースイスのブースには、自と異のモーターで仕上げられたスーパースポーツ、あるいはプレミアムカーがたくも集結。珍しいところではゴルフカートやバイクなど、その周辺は他のチューナーと一緒に展示する。



カーボンが積立つエンジンルームには、5700ccから5900ccへパワーアップを果たした1700馬力のV8が鎮座。458の車名の由来となった「4.54のV8」はそのままだ、エキゾーストの改良などで対応している。



室内にも外装同様カーボンが多用され、メータークラスターは一部が外装と同じ白となる。アルカンターラ仕上げのバケットシートには「SIRACUSA」のロゴがステッチ。よく見れば前席に「MANSORY COULTURE」のロゴが多数入っており、セシジのステッチがMになっている。実に驚いた位上げ。

フランクフルトで最も華やかなブースを造り上げたチューナー、それがマンソリー

「MANSONY」は、ドイツのフランクフルトに拠点を置くチューナーである。その歴史は1970年代から始まり、当時のドイツでは「チューナー」として知られていた。マンソリーは、その歴史を継承し、最新の技術と伝統的な手工芸を融合させた。その結果、マンソリーのチューナーカーは、単なる性能向上だけでなく、洗練されたデザインと高品質な仕上げを特徴としている。マンソリーのブースは、フランクフルトのIAA 2011で最も華やかなブースの一つとして知られている。その中には、最新のチューナーカーだけでなく、ゴルフカートやバイクなどの周辺商品も展示されている。

具、そして時計を始めとするファッションアイテム。マンソリー・ブースからの話題はそれ以上に盛り上がることを知らない。その中でも圧倒的な存在感を主張していたのは、やはりフェラーリの最新鋭スポーツモデル「イタリア」である。マンソリーのチューナーカーは、フェラーリの最大のライバルである。マンソリーのチューナーカーは、フェラーリの最新のスポーツモデル「イタリア」をベースに、マンソリーのチューナーが施された。その結果、マンソリーのチューナーカーは、フェラーリの最新のスポーツモデル「イタリア」を凌駕するほどの性能を誇る。マンソリーのチューナーカーは、フェラーリの最新のスポーツモデル「イタリア」をベースに、マンソリーのチューナーが施された。その結果、マンソリーのチューナーカーは、フェラーリの最新のスポーツモデル「イタリア」を凌駕するほどの性能を誇る。



458 イタリアへ独自のフィニッシュを施した、マンソリー・シラクサ。もはやチューニングカーと異なり、オリジナルの純正部品を多用し、特にエキゾーストリアはカーボンも多用、60kgの軽量化に成功している。

TechArt Gallery at IAA
会場を彩るテックアートたち



Based on Cayenne



Based on Cayenne



Based on Panamera



Based on Panamera



ポルシェ・チューナーであるテックアートは、もちろんカイエンやパナメーラもプロダクツ。会場にはご覧のように2台ずつを展示し、そのメニューが多彩であることを証明してくれている。両モデルのターボを600ps化するプログラムも用意されている。

その中でも注目を集めたのが、そのカラーリングが非常に美しい「マットブルー」だ。このカラーリングは、その独特な質感を表現するために、専用の塗装技術が用いられている。また、この車には、最新のテクノロジーが搭載されており、その性能も非常に高い。この車は、まさにポルシェの技術とデザインの結晶である。そして、この車は、世界中のファンから絶大な人気を博している。この車は、まさにポルシェの未来を象徴している。そして、この車は、世界中のファンから絶大な人気を博している。この車は、まさにポルシェの未来を象徴している。



既にテックアートは、新型911のチューニングイメージを発表。記事が発表される日も近いだろう。

TechArt GT Street RS

テクニク+アートの名を掲げるテックアートは、ポルシェをベースとした魅力的な作品を続々とリリース。ここフランクフルトではマットブルーが印象的なGT2RSベースの、GTストリートRSなど数台を発表した。

文●山崎元祐 Text by Motohiro Yamazaki 写真●中村大介 Photos by Daisuke Hirai
取材協力●テックアート・ポルシェ Phone 048-653-2222

史上最強のナインイレブンは、史上最強のテックアートへと昇華

ポルシェ・チューナーのテックアートは、今年初のフランクフルト・ショーで発表した「GTストリートRS」の中でも、圧倒的な存在感を見せていたのが、「GTストリートRS」だ。GTストリートRSという名称は、テックアートが生産するコンプリートカーの事情に詳しい人ならば、すでに十分に馴染みのあるものだろう。それはいつの時代も同様にして、最新のテックアート車であると同時に、世界最高峰のチューニング・ポルシェだ。

ポルシェ・チューナーのテックアートが今年初のフランクフルト・ショーで発表した「GTストリートRS」の中でも、圧倒的な存在感を見せていたのが、「GTストリートRS」だ。GTストリートRSという名称は、テックアートが生産するコンプリートカーの事情に詳しい人ならば、すでに十分に馴染みのあるものだろう。それはいつの時代も同様にして、最新のテックアート車であると同時に、世界最高峰のチューニング・ポルシェだ。



Close up at IAA2011 2



マット仕上げのスクイブルという、車中で最新のデジタルカメラとGTストリートRS。インテリアやブレーキキャリパー、ホイールの鮮色にもスクイブルが使用された。パワーステックは実に、720ps/591.84kg/mまで向上している。

